令和４年度末報告書（実行団体）

● 提　　出　　日　：2022 年４月７日
● 事　　業　　名　：障がい児等の体験格差解消事業
● 資金分配団体　：公益財団法人　ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
● 実　行　団　体　：有限会社 SHIPMAN
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
特別支援学校および発達支援級の児童・生徒が、水辺/海洋活動の自然体験に参加できる状態となる。	①　水辺の自然体験に参加した対象となる子どもの数 ②　水辺/海洋活動の自然体験に協力したサポートの人数 ③　活動に参加した対象者及び保護者の満足度	①　地域全体で 150 人（初期値から 1.5 倍） ②　地域全体で 60 人（初期値から 1.5 倍） ③　満足度調査比較	２０２２年１２月１日	①地域全体で６３人と、コロナの影響が色濃く出ている。 ②　実数は５人だが、延べで 170 人となっている。１人あたりの参加回数が多いので、サポーターについては今後増や	3

				していきたい。 ③ 保護者への満足度調査については、来場した場合に直接ヒアリングを行い確認する。	
団体指導者等が水辺/海洋活動の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	団体指導者の満足度	満足度調査比較（数値化による確認）満足度 90％以上を目指す。目標と課題の抽出。	２０２２年１２月１日	満足度調査比較90％以上を達成した。 ※目標と課題については、アンケートから抽出する。	2
支援を必要とする子どもの保護者等が、水辺/海洋活動の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	保護者の満足度	満足度調査比較	２０２２年１２月１日	保護者への満足度調査については、来場した場合に直接ヒアリングを行い確認する。	3
学校や団体等が、水辺/海洋活動等の自然体験に連携・協力・支援する状態となり、継続的に活動できる状態となる。	①利用団体等の数	①地域全体で 12 団体	２０２２年１２月１日	地域全体で１２団体以上を達成した。（2021 年度は学校・団体で 46 団体）	2
当団体と連携協力団体とのネットワークが深まり、様々な情報交換が行われる。	① 利用団体間や連携協力団体と定期的なコミュニケーシ	① 当団体で協力団体数を設定（5 団体に設定） ② 当団体で回数を設定	２０２２年１２月１日	① １団体 セイラビリティ伊勢との研修（２回）	2

	ョンがある団体の数 ② 地域の連携協力団体等と協議する会議や訓練、研修等の回数	(5 回に設定)		の機会を設けることができた。 今後は他団体とも研修や協議などの機会を増やしていく。 閑散期の活動にボッチャを取り入れ、関連団体との連携を図る。 ② 2 回(伊勢での研修)	
新型コロナウイルス感染症対策を講じたことにより、特別支援学校等が過去にない方法で安全に水辺及び陸上の自然体験に参加できる状態となる。	①最新の器材・設備の導入及び活用し、さらに三密対策等の安全対策を講じた水辺及び陸上の事業が実施できている状態	①新型コロナウイルス感染症安全対策を踏まえ、初期状態からマニュアル内容を活動団体指導者と共有し、指導者にも役割分担を明確化しいっしょに取り組んでいただく。6 回目以降通常活動時はすべて。	２０２２年１２月１日	新型コロナウイルス感染症安全対策のためのマニュアルを作成し、活動団体と共有することができた。また、コロナ対策のための器材を購入し三密を避けた活動の実施を行った。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑ 変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
メインの活動である海洋活動については、前半の７月までと後半１０月行うことができた。対象の１つである特別支援学校がコロナにより利用を控えるなど、昨年度よりもコロナの影響が強く、沢山の人に体験をしてもらうことができなかった。 閑散期もまん延防止等重点措置が発令されたため、活動が行うことができず、出前講座などにも赴くことができなかった。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
活動中のマスク着用や、外での活動では、間隔を開けて行うことにより密を避けることができた。屋外活動では、助成金で購入したテントやスポットクーラーを活用し、熱中症対策などを行うことができた。

④ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑ イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

2.広報制作物等 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑ 整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☐一部未公開　☑ 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：規程の整備完了後、公開日程を検討する。
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：規程類は現在整備中で変更がないため

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑ 内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用

3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☐はい　　☑ いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：役員どおしの業務上の情報連絡は密に行っているが、今後は定期的に行う予定。
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☐はい　　☑ いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：ホームページを改定し、情報公開を行う予定。
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☐内部監査を実施　　☑ 外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

コロナにより来所を控えた団体へ出前講座を行った。
静岡県立浜松みをつくし特別支援学校。